

大会報告書

「青少年のための科学の祭典」2019松本大会報告書

- 開催日時 2019年7月20日（土） 10:00～16:00開催
- 会場 信州大学理学部（〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1）
- 主催 「青少年のための科学の祭典」2019松本大会実行委員会、公益財団法人日本科学技術振興財団
- 共催 公益財団法人長野県テクノ財団、信州大学理学部、信州大学理学部同窓会
- 後援 文部科学省、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会、一般社団法人電気学会東海支部、長野県教育委員会、松本市教育委員会、公益社団法人信濃教育会、長野県高等学校科学協会、信州理科教育研究会、長野県技術・家庭科教育研究会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、テレビ松本ケーブルビジョン、朝日新聞長野総局、毎日新聞長野支局、読売新聞長野支局、信濃毎日新聞社、市民タイムス、中日新聞社、産経新聞長野支局
- 協賛 信州大学生生活協同組合
- 来場者数 1,679人
- 実施内容 ものづくり、体験、物理、化学、生物、地学に関する69のブースを出展し、小学生・中学生・高校生を主な対象として、実験体験、ものづくり体験、パネル展示等を実施した。また、実行委員会の特別企画として、本学、原山智名誉教授の特別講演「地質探偵ハラヤマとさぐる北アルプス誕生の秘密」を行った。他の特別企画として、昆虫や動植物のはく製を展示している本学理学部の博物館「自然科学館」を見学する「自然科学館見学ツアー」では、館長の東城幸治教授が展示されているライチョウ等のはく製を用いて解説を行い、小学生から一般の方まで幅広く参加していただいた。
- 出展数 69出展
- 出展タイトル一覧
 - A-1 光るスライムを作ろう！
 - A-2 光と色の秘密
 - A-3 エッジスケルトンで正十二面体作り
 - A-4 多面体を作ろう
 - A-5 両面ジクソーパズルを作ろう
 - A-6 拓け！びっくり箱
 - A-7 疾れ！ゴンドラ

- A-8 廻れ！ハンドスピナー
- A-9 翻せ！パタパタ
- A-10 磁石を使った不思議なブランコと滑り台
- A-11 崖の上のポニョが乗ったポンポン船を作ろう
- A-12 城下町ロケット
- A-13 宇宙ゴマ
- B-1 コンピュータの中の仮想アリたちと最短ルート探しをしてみよう
- B-2 電子の目で見るミクロの世界
- B-3 万力結び・ホログラム製作体験
- B-4 エコ発電，楽しい実験を体験しよう
- B-5 カメラ付きラジコンを操作しよう
- B-6 みずでんちをつくろう
- B-7 長野県の岩石大集合！！～自分だけの岩石ひょうほんを作ろう～
- B-8 ペンギンの足跡レプリカの作製
- B-9 和算の魅力・不思議を体験してみよう
- B-10 身のまわりの温暖化「ヒートアイランド現象を体験しよう」
- B-11 イカの体の仕組みを学ぼう
- B-12 コピー機になってみよう！
- C-1 霧箱
- C-2 空高くとばせ！アルコール燃料ロケット
- C-3 炎色反応～オリジナルの花火を作ろう！～
- C-4 シャボン玉の不思議
- C-5 ラベンダーオイル
- C-6 カラフルイクラづくり
- C-7 おもしろ化学実験
- C-8 静電気でまわる！フランクリンモーターをつくろう
- C-9 ふしぎな リズミカル 水溶液
- C-10 電流と超伝導のふしぎ！ ～ マイナス196℃の世界 ～
- C-11 風車をつくろう！
- C-12 腕力をはかろう！
- C-13 素粒子パチンコ
- C-14 風に向かって走る車 -力の伝わり方を学ぼう！-
- C-15 磁石の不思議を体験しよう
- C-16 静電気を貯めるライデン瓶を作ってみよう
- C-17 お魚さんを泳がせてみよう
- C-18 咲かせてみよう自分だけの花！！
- C-19 太陽を観察しよう
- C-20 天文工作 ～月球儀と圭表儀のペーパークラフト～
- C-21 超低温の世界を体験しよう
- C-22 無色の溶液からどんな色の結晶がでる？
- C-23 磁石とふれあう
- C-24 紙コップブーメラン
- D-1 自作の超簡単顕微鏡で細胞を見てみよう
- D-2 電子の目で見るミクロの世界 身近な生きものたちの不思議
- D-3 利き水チャレンジ！
- D-4 メダカの体色の不思議
- D-5 砂粒の中の化石やきれいな鉱物をさがそう
- D-6 擬態する昆虫ナナフシ類の不思議～安曇野市内で大発生中のナナフシモドキの生態展示～

- D-7 日本のクワガタムシの生態と進化
- D-8 地震の波と地面のゆれ ～遊んで分かるゆれ方のしくみ～
「JST 未来共創イノベーション活動支援事業」
- D-9 骨まで愛して♪
- D-10 身近な花と昆虫のふしぎ
- D-11 昆虫を解剖してみよう
- D-12 小さな化石を探そう
- D-13 信州大学理学部保存の化石と岩石
- D-14 恐竜おり紙
- D-15 アリの巣を観察しよう
- E-1 河原の草は力持ち
- E-2 なぜ大学付近の女鳥羽川河床は掘れているのだろうか？
- E-3 2004 年インド洋大津波
- E-4 東北地方太平洋沖地震津波の痕跡―逃げ足を鍛えるには―
- E-5 翼の不思議

■製作物

- ・実験解説集 : A 4 版／表紙カラー・中白黒／130ページ／製作部数：700部
- ・ポスター : A 2 版／カラー／製作部数：50枚
- ・チラシ : A 4 版／表紙カラー、裏白黒／製作部数：25,000枚

■広報活動 製作物（チラシ・ポスター）は、広報担当を中心として、学校・児童館・図書館・駅等の公共施設を中心に配布した。近隣の小学校には児童全員分のチラシを配布した。それ以外は各所に10～100枚ずつ配布した。

- ・プレスリリース：松本市政記者クラブ、地方新聞記者会、日刊工業新聞
- ・ラジオ：FM長野「エコチル信州応援団」（7月19日）
- ・その他：（長野県科学振興会「試験研究機関等特別解放」チラシ、
（株）JSコーポレーション「体験イベントin大学」）